

# 校長室だより

10月号

杉並区立向陽中学校  
平成29年10月31日発行  
校長 菅野武彦

## 「人間賛歌が響き渡る学校づくり」を目指して

【今年度のキーワード】 継続

## 「建設的な和～みんなの向陽中学校～」

### ◇ 『東京都 生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査』の結果のお知らせ

今年度実施した『東京都 生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査』の集計結果が出ましたので、一部抜粋版をお知らせします。各学年生徒の体力・運動能力の概要が把握できます。

【男子】（1年：赤・2年：青・3年：黄）※赤数字は東京・全国よりともに低い

	身長	体重	握力	反復横とび	持久力	50M走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
本校	152.1	43.0	22.7	47.9	401.6	8.6	179.9	17.6	34.0
東京	153.2	43.1	23.4	49.2	425.9	8.5	177.4	17.5	32.9
全国	153.4	43.9	24.6	49.5	416.1	8.4	181.0	18.7	35.5
本校	159.8	46.5	27.3	53.1	365.8	7.9	193.3	19.9	40.2
東京	160.6	48.1	28.6	52.4	385.4	7.9	194.2	20.3	41.2
全国	160.2	48.4	30.1	53.1	370.8	7.8	197.7	21.5	44.7
本校	167.9	53.5	32.0	53.5	341.2	7.4	217.6	24.7	50.4
東京	166.1	53.2	33.7	55.0	374.0	7.6	208.6	22.9	47.9
全国	165.0	53.2	35.4	56.1	365.1	7.4	212.4	24.1	51.6

【女子】（1年：赤・2年：青・3年：黄）※青数字は東京・全国よりともに高い

	身長	体重	握力	反復横とび	持久力	50M走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
本校	151.2	40.5	21.8	45.0	265.6	8.9	177.4	11.3	48.6
東京	152.4	43.1	21.5	45.8	301.9	9.0	163.6	11.1	44.1
全国	152.0	43.4	21.9	45.5	298.6	9.0	165.0	11.9	45.4
本校	155.0	46.1	23.2	48.3	263.4	8.6	179.7	14.3	55.3
東京	155.4	46.6	23.5	47.1	286.4	8.8	168.3	12.5	49.1
全国	155.0	46.6	24.4	47.0	278.4	8.7	170.7	13.5	51.4
本校	157.1	49.6	24.7	45.8	272.4	9.0	173.5	13.8	51.3
東京	156.9	49.1	24.7	47.6	289.5	8.7	170.1	13.3	51.1
全国	156.3	49.1	25.5	48.0	284.0	8.6	174.8	14.4	54.0

※ 全学年男女とも「持久力」の高さが際立っています。保健体育の授業で継続的に取り組んでいる成果と思われます。また、1年女子と2年女子の体力合計点が都平均並びに全国平均より高く、男子では3年生の体力合計点が高い傾向にあります。課題は男子が「握力」・「反復横とび」、女子が「反復横とび」ということが分かります。今後、課題を見据えて取り組んでいきます。

## ◇ 2学期は「たくましい向陽を創ろう！」～生徒一人一人に求めます～

私は向陽中生に「たくましさを身に付けてほしい」と思っています。もう少し具体的に言うと、「遅刻をしないなど時間を守る」、「自分のことは自分でやる」、「間違いや失敗にくよくよしない、くじけない」、「我慢強く、ねばり強く続ける」、「自分で考えて行動する」、「他人にやさしくする」などが思い浮かびます。すべて私自身のこれまでの経験から思い浮かんだ「たくましさ」です。欲張りでしょうか。実は、生徒に示した『自育力を育てる習慣づくり14か条』も私自身の経験を基に考えたものです。自分のこれからの人生を生き抜くために必要不可欠だからです。

このような思いもあり、2学期は生徒に「たくましさ」を求めています。たくましさを求めるその先には、学校経営計画で示した「自立的な活動ができる生徒及び集団」の姿があります。生徒自身の課題に向き合わせ、自力で解決しようとする過程を大事にしたいと思います。1・2年生は毎日の授業や委員会・係活動、部活動等を通して、3年生は“受験勉強”を通して「たくましさ」に向き合わせ、自力で解決できるよう呼びかけていきます。

### 自分の課題に向き合ってこそ 1・2年生に期待

例えば、毎朝10分間の「朝読書」。4月から10月末までの「朝読書」の積み重ねはおよそ“16時間”になります（勿論、2年生はおよそ3倍になります）。

「塵も積もれば…」です。1・2年生がこの16時間にどう向き合ってきたかにより“学んでいる”か、“学びから逃げている”かに分かります。これこそ“コツコツと着実に”です。生徒によっては“我慢強く、ねばり強く続ける”ことが求められます。ちなみに、私は朝読書ならぬ「朝新聞」に毎朝15分欠かさず目を通すようにしています。

例えば、毎日の「授業」。今年度、向陽中学校生活3年間で生徒を「自立した学習者」に育てることを目標に掲げました。「自立した学習者」の具体像は“能動的に学ぶ・対話的に学び考えを深める・よりよい人間関係をつくる”です。言い換えれば、“依存”や“待つ”姿勢からの脱却です。これには先生の手も借りなければなりません。先生方も生徒が“能動的かつ対話的に学ぶことができる”ように授業改善に取り組んでいます。そんな中、1・2年生は毎日の「授業」にしっかりと向き合っているでしょうか。逃げている人はいませんか。誰にでも得手不得手、好き嫌いはあります。

でも、それに向き合わなければ何も変わりませんね。ここでも“間違いや失敗にくよくよしない、くじけない”、“我慢強く、ねばり強く続ける”、“自分で考えて行動する”ことが求められます。

さらに、委員会や係活動、部活動も自分に向き合い、「たくましさ」を身に付ける有効な活動です。ここ数年、上級生が頑張って生徒会活動と委員会活動が充実してきました。これを受け継



朝読書の様子 2年A組



1年英語 夏休み課題「絵と英単語」

いだ1・2年生がどう頑張るかです。でも、これに関してはきっと大丈夫だと思います。やる気に満ちているからです。また、秋の新人大会をほぼ終えた部活動。1・2年生の頑張りと活躍を見させてもらいました。向陽中生の懸命な姿を見るっていいですね。これからも部活動にしっかりと向き合って「たくましさ」を身に付けてほしいです。

### 3学期を乗り切る力を 3年生106名と面談

先週後半より先生方の授業観察を行っていますが、3年生の授業に向かう姿勢や集中力、そして学級の雰囲気がとても素晴らしいです。受験生だから当たり前と言えばそれまでですが、3年生のこれまでの取り組み姿勢がそのまま表れていると言ったほうがいかもしれません。

つい先日まで昼休みと放課後を使い、3年生と4人一組の面談を行いました。2学期に3年生と面談を行うのは、“受験勉強”を通してたくましくなしてほしい、3学期への心構えを持ってほしいという理由からです。まず、一人一人に「受験勉強を通じてどんな力を付けたいか」を尋ねました。それが自分自身のたくましさにつながると考えたからです。「誘惑に負けない」・「言い訳をしない」・「ねばり強く取り組む」・「自分で決めたことを実行する」など、3年生の口から力強い宣言が出てきました。

つぎに、3学期の大変さを説明しました。「2学期はほぼ全員が同じ方向を向いて勉強に励むから、クラスの雰囲気も乱れることはない。ところが3学期はそうはいかない。一人一人の受験が始まるからだ。早い人は1月中旬に始まり、合格する人も出てくる。一方、都立高校の一次入試を受ける人は2月23日が入試で合格発表は3月1日だ。この間1か月半近い差がある。しかもその間に、出願だ、入試だ、発表だ、手続きだと教室への出入りが頻繁になる。自ずとクラスの雰囲気は落ち着かなくなる。しかも一人一人にプレッシャーもかかり、ストレスもたまり出す。自分のことしか見えなくなったり、自分のことで精一杯になったりする」と。

みんな真剣にうなずきながら話を聴いてくれました。その時になってみないと分からないかもしれません。でも、「受験は個人戦でもあり、団体戦でもある」ことを肝に銘じ、3年生が“共に3年間歩んできた仲間”として乗り切ることを願っています。大人はみな、君たち3年生を応援しています。「君たちなら、できる！」とも言いました。がんばれ！3年生！



3年A組 「国語」の研究授業



3年B組 「数学」の研究授業



3年C組 「社会」の研究授業

## 向陽祭で示した「私がやる！」と「一体感」

2学期の「たくましい向陽を創ろう！」のゴールイメージの一つに向陽祭がありました。私は常々「向陽中学校の生徒を見てください！」と言える学校にしたいと言っていますが、学級での合唱練習を通して必ずや一人一人に「たくましさ」が身に付くと考えているからです。たくましく成長した表情と歌声を見せてほしいのです。果たして今年も向陽中生は見事にその姿を見せてくれました。

向陽祭の取組みのねらいは、様々な課題を自力で解決できる学級集団に育て、生徒に「自立的に活動できる集団」を実感させることにあります。朝練習や放課後練習の様子からは、成長段階という学年差はあるものの、その学年に応じた“自立的な活動”を見ることができました。勿論、紆余曲折を避けて通れません。これを乗り越える力が各学級を成長させました。

私が「みんなの向陽中学校」を掲げる意図は、「生徒一人一人が何事にも「私がやる！」という前向きな気持ちで取り組み、向陽中学校を“自分がつくる”という気持ちで取り組んでほしいからです。向陽祭では、全校生徒一人一人の“私がやる！”を肌で感じるとともに、全校生徒の“一体感”が体育館中に熱気となってあふれていました。“お見事！”

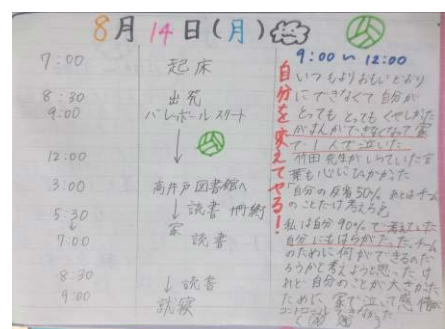


## ◇ 『自育力ノート』で自分に向き合う第一歩にしたい ～1・2年生対象～

この夏休みに1・2年生を対象に『自育力ノート』の取組みを行いました。学期中はそれだけでなくとも多忙な中学生ですから、夏休みを利用して“自育力”に向き合わせる機会としたかったからです。ただ、無理をしてまでやることではないので、できる人はやってみようと呼びかけたところ、66名の1・2年生が『自育力ノート』を提出しました。

多くの生徒がノートに書いていたことは、部活動の記録、家庭や地域での手伝い、そしてボランティア活動でした。夏休みならではの田舎への帰省の記録もあり、その光景が目につくようでした。私がうれしかったことはボランティア活動です。日頃できないことなので、夏休みに自ら探してボランティア活動をしてほしかったからです。また、部活動で自分自身を鍛える様子やなかなか思うようにならない悩みなどが記されていて、思わず“がんばれ！”と言いたくなりました。

さて、つぎは冬休みです。年末年始を家族で過ごしたり新年の抱負を考えたり、自分に向き合みましょう。



ある生徒の『自育力ノート』